

公立大学法人青森公立大学
令和元年度業務実績評価結果の反映状況について

1 全体評価（組織、業務運営等に係る改善事項等）

教員及び職員の人事評価については、着実に前進してきており、出来るだけ早期に本格実施されることが期待される。

2 項目別評価への今後の対応

(1) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（研究）

1	評価書の内容	平成30年9月に開設されたメディアラボを活用し6講座実施されるなど、教員の研究成果の地域還元が実施された点は評価できるが、今後は、教員の研究成果の地域還元を推進していくため、マスメディアを効果的に活用するなど、積極的に地域への情報発信を行うことを求める。
	業務運営等への反映状況	教員の研究成果の地域還元を推進していくためプレスリリースやケーブルテレビを通じて公開講座を放送するとともに、公開講座の動画をまちなカラボで閲覧できるメディアラボを継続して実施した。 令和2年度については、引き続きケーブルテレビを通じて公開講座を放送するとともに、メディアラボを実施した。 また、ホームページへの研究成果の掲載や本学の取組を掲載した新聞記事をホームページに掲載するとともに、プレスリリースを活用したマスメディアへの積極的な情報提供を行った。

(2) 経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

2	評価書の内容	今後は、新たな研究領域を開拓しながら、受託研究・受託事業・助成金を増加させることを求める。 寄附金の獲得が可能な団体等については、情報収集にとどまらず、資金獲得に努めるよう求める。
	業務運営等への反映状況	受託研究・受託事業・助成金の獲得増加のため、情報収集・提供を随時行った。 具体的には、科学研究費助成事業・青森学術文化振興財団・民間の助成金・受託研究・受託事業などについて情報収集するとともに、積極的に応募するよう教員等へ案内（メールや学内掲示）した。 また、寄附金については、獲得が可能な団体等の情報収集を行った。 令和2年度については、引き続き、各種助成金や補助金、受託研究・受託事業などの情報収集や教員等の積極的な応募促進を行うとともに、中泊町からの受託事業を獲得するなど、外部研究資金の獲得を図った。 また、ホームページで寄附金の案内を行い、青森県内の企業から寄附金を獲得するなど、その他の外部資金の獲得を図った。